

8/31

農業EXPO

セミナー スケジュール



10:00~10:15

フェア回り方ガイド ～新・農業人フェアの回り方～

本日の新・農業人フェアの見どころや、より効率的な情報収集ができるイベント活用法などをお話いたします。
フェア開催の10:00から10:15までは、回り方ガイドの視聴のみとなります。
回り方ガイド終了後、ブースを自由に訪問いただけます。

新・農業人フェア運営事務局



11:00~11:25

農業初心者のためのわかりやすい農業の始め方講座

農業に興味があるけど何から始めて良いかわからない皆さんにわかりやすく解説します。

農業キャリアコンサルタントAKUSYU（アクシュ）代表
深瀬貴範



1985年株式会社リクルートフロムエー（現(株)リクルート）に入社。人事マネージャーとして主に自社の新卒・中途採用を担当、また営業として東日本営業部の部長などを経験。
2011年より農林水産省に向けて農業人材の確保について提案。その後地方創生や地方の農業人材確保に取り組み
2013年から農林水産省補助事業「新・農業人フェア」の責任者を担当。2020年に株式会社リクルートを定年退職後、現在は「新・農業人フェア」のセミナー、地方行政の農業活性化事業に関わる。2024年4月に「難しいことはわかりませんが、50歳でも農業を始められますか？」を淡交社より出版

12:00~12:25

有機稲作の始め方（山口俊樹の場合）

非農家出身未経験者の0からの有機農家（穀物）への新規就農の一事例

上州百姓 米達磨～こめだるま～ 農園主
山口俊樹



神奈川県出身。学生時代は社会学・民俗学を専攻。サラリーマン生活を経て、日本人の原点に立つ「米・麦・大豆作り」に携わるべく研修後、群馬県藤岡市にて2012年より独立・新規就農。2015年に結婚を機に、愛知県出身の妻を農園女将に迎え二人三脚で有機穀物を主とする農園を営む。3haから始まった耕作面積は、現在は約10haまで広がり、全ほ場で有機JAS認証を取得(1年目のほ場は除く)。米7品種、大豆3品種、小麦・大麦を有機栽培し、ネットショップやマルシェなどで直売を行っている。

13:00~13:25

新卒で新規就農の道へ。0から始めた就農までの道のり

新卒で小田原に移住し、2年半の農業研修を経て果樹農家として独立した道のりを紹介。

はれやか農園代表
槇紗加



1998年生まれ。日本女子大卒。レモン農家になるため、大学卒業直前に小田原に移住し矢郷農園で修行を始める。2023年夏、「はれやか農園」という屋号で独立。現在はレモン・オレンジなどの柑橘類とキウイフルーツを栽培している。

14:00~14:25

農業の新しいカタチを創る サラダボウルグループの挑戦

2014年に新規就農し、全国に11カ所の農場を展開。
今に至る経緯とその想いを紹介します。

サラダボウルグループ 代表
田中進



1972年、山梨県中央市生まれ。駿台甲府高校、横浜国立大学経営学部を卒業後、東海銀行（現三菱東京UFJ銀行）に入行。約5年勤めた後、ブルデンシャル生命保険に転じ、合計約10年間金融機関にて企業支援に携わる。様々な業種業態の、創業間もないベンチャー企業から大企業まで担当。経営を支援する立場から企業の成長や経営者の想いに触れ、自らも起業を志す。2004年、株式会社サラダボウルを創業。現在、全国6カ所で大規模農場を運営。今後も『農業を地域にとって価値ある産業』にすべく、全国各地での農場運営を計画している。
著書として『ぼくらは農業で幸せに生きる』などがある。

15:00~15:25

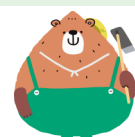
農業法人で働く ～くしまアオイファーム（KAF）を例に～

農業法人への就職は就農？KAFを例に農業法人での働き方や仕事内容をご紹介します。

株式会社くしまアオイファーム 代表取締役社長
奈良迫洋介
（一般社団法人 ナフィールドジャパン 理事）



1982年生まれ、鹿児島県出身。高校卒業後、美容師見習いを経てワーキングホリデーでニュージーランドへ。帰国後、鹿児島大学に入学し卒業後の2010年4月よりインドの現地企業で働く。2012年7月からは東京の商社にて経営管理や食品の輸出業務に従事。他部門への異動内示をきっかけに「サツマイモ愛」から台湾で見つけたくしまアオイファームへの転職を決意。2016年1月入社、同年9月から2017年3月までベトナムに駐在。2018年1月実施の社長内定総選挙で当選し2020年9月より現職。国際農業者奨学金制度「Nuffield」の日本事務局の理事も務める。宮崎大学大学院農学工学総合研究科博士後期課程在学中。



新・農業人フェア